

会場	船橋市総合体育館	コート	A	B	2011/5/13
----	----------	-----	---	---	-----------

	Team A	女子準決勝	Team B		Team A	女子順位決定戦	Team B																																	
A1	千葉英和	109	<table border="1"> <tr><td>30</td><td>1Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>19</td><td>2Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>39</td><td>3Q</td><td>9</td></tr> <tr><td>21</td><td>4Q</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	30	1Q	16	19	2Q	23	39	3Q	9	21	4Q	16		OT		64	幕張総合	茂原	70	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>2Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>16</td><td>3Q</td><td>14</td></tr> <tr><td>18</td><td>4Q</td><td>18</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	22	1Q	16	14	2Q	16	16	3Q	14	18	4Q	18		OT		64	我孫子
	30	1Q	16																																					
19	2Q	23																																						
39	3Q	9																																						
21	4Q	16																																						
	OT																																							
22	1Q	16																																						
14	2Q	16																																						
16	3Q	14																																						
18	4Q	18																																						
	OT																																							
	<p>英和はオールコートマンツーマン、幕総はハーフコートマンツーマンからスタート。英和は#8伊藤のバスケットカウントから始まり、#4藤岡のゲームメイクからミドルシュートを確実に決め、ディフェンスは中を徹底的に潰し流れを作った。一方幕総は英和のディフェンスに苦しみ、インサイドで攻められず、#13大坪がいい動きを見せるがミドルシュートが決まらず、流れは英和のまま第1Q終了。</p> <p>第2Qは両チームメンバー交代があり、そこで流れを掴んだのが幕総。#18山田・#14三澤のパスカット、#6のカッティングの走るバスケットを見せ、英和は焦りからミスやファウルが目立ち、幕総が流れを掴んだまま第2Q終了。</p> <p>第3Qは英和がメンバーを戻し一気に流れを掴む。やはり#4藤岡のオールラウンダーの攻めからリバウンドまで目立ったが、#14寺田の3Pなど1人1人の得点能力は圧巻だった。幕総は#4鶴見・#5齋藤が対抗するが、シュートが決まらず、大きく差が開き英和が勝負を決めた。第4Qは一進一退の攻防で、英和の3P・ミドルシュート、幕総の#7金のインサイドで応戦するが流れは変わらず、109 - 64で英和が勝利した。</p>				<p>両チームともオールコートマンツーマンで試合スタート。お互いの特性を探りながらの静かな立ち上がり。我孫子は#5田口を中心としたパス回しに対し、茂原は粘り強いディフェンスと速いカバーディフェンスで我孫子の1対1を守ったが、我孫子はそれを押し切った。22対16茂原リードで第1Q終了。変わらず両者オールコートマンツーマンで第2Q開始。我孫子の#4辻井と#5田口のドライブで我孫子が追い上げる。第2Q途中、茂原#6鈴木がケガをして交代したが、我孫子も流れを掴み切れず36対32と茂原が逃げ切った。第3Q開始で勝負に出ると思ったが、お互い何も仕掛けることのない状態が続いたが、茂原は#4江口のポストプレイを有効に使いつつ、#7宮崎の切れのあるドライブで点を稼ぐ。我孫子もそれに圧倒されながらも持ち前の1対1で切り込み、徐々に点を重ねるが、差は縮まらない。第4Q茂原#6鈴木が復活するも我孫子は動じることなく切り込み、ファウルを狙う。しかし茂原#4江口の3Pが決め手となり、茂原は逃げ切った。</p>																																			
A2	幕張総合	106	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>23</td><td>2Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>31</td><td>3Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>32</td><td>4Q</td><td>11</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	20	1Q	12	23	2Q	18	31	3Q	18	32	4Q	11		OT		59	拓大紅陵	八千代松陰	95	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>16</td><td>2Q</td><td>21</td></tr> <tr><td>28</td><td>3Q</td><td>22</td></tr> <tr><td>32</td><td>4Q</td><td>19</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	19	1Q	20	16	2Q	21	28	3Q	22	32	4Q	19		OT		82	県立八千代
	20	1Q	12																																					
23	2Q	18																																						
31	3Q	18																																						
32	4Q	11																																						
	OT																																							
19	1Q	20																																						
16	2Q	21																																						
28	3Q	22																																						
32	4Q	19																																						
	OT																																							
	<p>両チームともハーフコートマンツーマンからスタート。開始直後、紅陵#5渡邊の3Pで流れを作るが、幕総#5宍倉のリバウンドからゴールしたシュートをきっかけにリバウンドからの速攻が何本も決まり、流れを掴んだ。対して紅陵はドライブを仕掛けるがミドルシュートが決まらず、流れは幕総のまま20 - 12で第1Q終了。</p> <p>第2Q、幕総は第1Q同様速攻で崩し、#5宍倉を中心に攻め続ける。紅陵は#8京の3Pをきっかけに流れを掴みかけたところで第2Q終了。</p> <p>第3Q、紅陵はゴール下でのスクリーンプレイやパスランからの1対1で攻めるが、幕総の速攻で紅陵の勢いを止める。</p> <p>第4Q開始直後、またもや幕総の速攻が出る。紅陵は#14栗原・#15青柳で中外を狙うが上手く決まらず、幕総の流れのまま試合終了。106 - 59で幕総が決勝にコマを進めた。</p>				<p>立ち上がりから両者とも積極的にシュートを決める。八千代#7紙谷の3Pから始まり、対する松陰も着々と得点を加算。八千代のディフェンスが2 - 2 - 1からのマンツーマンに変わるが、松陰は#7秋山を中心に速いゲーム展開をする。しかし、お互い得点が決まらず、両者沈黙が続く。前半ラストから両者3Pが入りだすが、八千代のシュートがよく入り、41 - 33と八千代がリードし前半を終える。後半開始直後、八千代の3Pが決まるが、松陰も3Pなどを決め、1ゴール差まで追い付く。再び10点差まで離される松陰だが、バスケットカウントなどを着実に決め、3点差まで追い付く。さらに#5染谷がバスケットカウントを決め、同点となり第4Pへ。同点から始まった第4Pは、八千代が先制するも、松陰が流れを掴み点差を広げていく。八千代は積極的にシュートへ行くなかなか決まらず、ファウルがかさむ。対する松陰はすべてのシュートを着実に決める。最後まで粘り強いプレーを見せた松陰が95 - 82で勝利した。</p>																																			

	Team A	女子決勝				Team B	Team A	女子 5位決定戦				Team B	
A3	昭和学院	69	19	1Q	16	63	千経大附	91	23	1Q	7	64	茂原
			18	2Q	12			16	2Q	28			
			12	3Q	23			27	3Q	11			
			20	4Q	12			25	4Q	18			
				OT					OT				
	<p>関東大会千葉県予選女子決勝は千葉英和对昭和学園の組み合わせで、初の3人制審判で行われた。第1Q、英和はオールコートマンツーマン、昭和はハーフコートマンツーマンからスタート。スタートダッシュが持ち味の英和だが、活かしきれず#4藤岡のプレーで何とか点を重ねていく。一方昭和は#9余郷を中心に速いパス回しで、#7村山のインサイドなどバランスの良い攻めを見せ、昭和リードのまま第1Q終了。第2Q昭和が落ち着いた攻めを見せ、英和はなかなかリズムをつかめず、#8伊藤のインサイドなどで粘るが差を広げられ、第2Q終了。第3Qになり、英和の合わせのプレーが増え、シュートが決まり始める。一方昭和はインサイドのプレーはあるが、徐々にボールが止まり始め、流れが止まる。そこで英和の#12坪内の速い攻めで流れをつかみ、そのまま逆転し、第3Q終了。第4Qは出だしから昭和が確実に点を決め、差をつけるが英和も負けじとオールコートマンツーマンで昭和をあせらせ、リズムを作り差を縮める。決勝にふさわしく最後まで目が離せない試合となったが、昭和が逃げ切り、69対63で昭和が優勝した。</p>						<p>お互いオールマンツーマンでスタート。開始早々経済が持ち前のスピードとパワーを活かした1対1へ茂原を圧倒し、みるみる点を稼いでいき、差をつけていく。一方茂原は経済の寄りの速さとディフェンスの堅さで思うようにプレーができず7対23で経済がリードする。ところが、第2Q茂原が#12小高のゴール下でのパワープレイを始め、#7宮崎の1対1やフリースロー等で点を稼ぎ、流れが茂原になり、さらに3Pを2本決め差は一気に縮まった。しかし経済も#5小林の苦しいながらもジャンプシュートが2本決まり逆転は許さず、35対39で前半終了。茂原はゾーンに切り替え経済のリズムを崩そうとするが、経済#4の速いパス回しですぐに立て直す。茂原は思うように得点が伸びず、46対66と経済は一気に差をつける。第4Q、経済の力強いディフェンスに茂原#7宮崎がドライブで切り込み得点を稼ぐ。しかし残り4分経済#11時田の速攻が続き最後までスピードは衰えず91対64と経済が5位を決めた。</p>						
A4	Team A	男子決勝				Team B	Team A	男子5位決定戦				Team B	
	市立船橋	88	28	1Q	19	82	東海大浦安	89	28	1Q	18	71	八千代松陰
			13	2Q	23			17	2Q	21			
			17	3Q	24			23	3Q	17			
			30	4Q	16			21	4Q	15			
				OT					OT				
	<p>審判3人。両チームともハーフマンツーマンでゲームスタート。市船#7小牧のシュートや速攻がよく決まる。対する幕総は#11中村がドライブなどをしかけシュートを打つが、なかなか決まらず市船が流れをつかみ、28-19と市船リードで第1Qが終了する。第2Q、幕総はディフェンスをゾーンに変えると、市船はゾーンを崩せず、なかなか得点が決まらない。対照的に幕総は#5穴倉のゴール下でのシュートがよく決まり、流れを掴む。41-42と幕総が逆転し第2Qが終了する。第3Q、幕総の速攻が2本連続で決まり、流れは幕総のままであったが、市船#7小牧のドライブシュートなどで幕総に食らいつき、一進一退のゲームとなり、58-66幕総リードで第3Qが終了する。第4Q、市船のドライブからの合わせが決まり、幕総に追いつく。市船#14内山が畳み掛けるように3Pを決めるが、幕総#5穴倉がシュートを決め、点取り合戦が始まるが、最後まで市船の勢いを止めることができず、88-82で市船が勝利した。</p>						<p>試合開始直後、両チームとも積極的にシュートを狙うがなかなか点につながらずファールがかさむ展開。前半東海は#5田代、#6篠原を中心に得点を重ねリードを広げる。しかし、2Q中盤、高さを生かしてリバウンドを取るも点につながらず苦しい流れ。その間八千代松陰は#6松本の3Pや#7秋山のドライブにより追いかけるが、東海#5田代の連続ポイントにより前半45-39で後半を迎える。後半からも両者一步も譲らずシュートを打ち続けるが松陰の得点が伸び悩む。対する東海は#5田代#7中村を中心にリバウンドに積極的に飛び込み得点につなげる。68-56で迎えた4Q、#6松本が開始2分で3Pを決め流れをつかんだ松陰は#5染谷がバスケットカウントで1スローを決め8点差。しかし、確実に得点を重ねていった東海大浦安が89-71で勝利した。キャプテンである#4丸山が終始チームメイトに積極的に声をかけ、よいムードを作り出し勝利を導いたのだろう。</p>						

会場	船橋市総合体育館	コート	C	D	2011/5/13
----	----------	-----	---	---	-----------

	Team A	女子準決勝	Team B		Team A	女子順位決定戦	Team B		
C1	昭和学院	80	23 1Q 9	47	市立船橋	76	24 1Q 23	74	市立柏
			22 2Q 10				10 2Q 12		
			17 3Q 9				24 3Q 14		
			18 4Q 19				18 4Q 25		
			OT				OT		
<p>第1Q、昭和・市船共にマンツーマンディフェンスでスタート。市船はスイッチの速いマンツーマンで守るが、後半から昭和の速い攻めにより得点が開いてしまい19 - 23で終了。</p> <p>第2Q、市船はディフェンスをゾーンに変え流れをつかもうとするが、昭和は動じることなく、得点を重ね、19 - 45で終了。</p> <p>第3Q、昭和の優位は変わらない。しかし、後半、市船がメンバーを代え、2 - 2 - 1から3 - 2のゾーンで流れをつかむが速攻でなかなか得点につながらない。市船7番田口の3Pやドライブで仕掛けるが、28 - 62で終了。</p> <p>第4Qも市船は昭和の流れを変えることができず、市船も最後まで粘るが47 - 80で昭和が快勝した。</p>				<p>両チームオールコートマンツーマンでスタート。市立柏#4ヌンイラを軸に、経済はアウトサイド中心に、一進一退の攻防で、市立柏#4ヌンイラが、1Q終盤3つ目のファールで後退し、苦しくなる。23 - 24経済リードで開始した2Q、両チーム果敢に攻め込むが得点につながらず、残り3分市立柏がタイムアウト。#4ヌンイラが入り流れをつかみかけるが、経済も反撃し、35 - 34市立柏リードで前半終了。3Q、市立柏がゾーンを仕掛けるが、機能せず流れはつかめず、中盤でマンツーマンに変えるが、経済#12真芽の3Pで勢いがつき、49 - 58経済リードで終了。4Q、経済が勢いを保ち、点差を開くが、残り5分市立柏タイムアウト後、#4ヌンイラのバスケットカウントから一気にリズムをつかみ、残り35秒、#7大和田のドライブで同点に追い付く。しかし残り0.5秒経済#5小林のバスケットカウントで74 - 76、千葉経済が劇的な勝利を収めた。</p>					
C2	柏日体	80	14 1Q 27	89	市立船橋	73	12 1Q 10	62	市立柏
			26 2Q 25				18 2Q 18		
			24 3Q 22				21 3Q 7		
			16 4Q 15				22 4Q 27		
			OT				OT		
<p>前半日体は、センターのハイローでインサイドを攻めるがなかなかシュートが決まらない。それと同時に相手からファウルをもらってもフリースローが入らず得点が伸び悩む。対称的に市船は3Pが立て続けに入り、日体がタイムアウトをとっても#7小牧の3Pやミドルシュートなどで流れを変えさせない。日体は2 - 3ゾーンで市船の速い動きを封じにかかるが、市船の外からのシュートが良く決まり、結果的にゾーンが効かなかった。</p> <p>日体は#10王が一気に6得点決め、後半をスタートさせた。市船の合わせをカットし流れを掴んだと思われたが、市船#4西鶴のカットやシュートで流れを戻した。そのまま#7小牧の3Pなどが決まり、80 - 89で市船が勝利した。</p>				<p>両チームハーフマンツーマンでスタート。第1Pは両チームともスクリーンプレイやドリブルプレーで積極的にシュートを狙うが、シュートがなかなか決まらず、東海が12 - 10とリードし第1Pを終えた。</p> <p>第2P・第3Pと出だしは市柏が流れを掴むが続き、東海の合わせやステップインにより流れを持って行かれ第4Pを迎えることになった。</p> <p>第4Pで市柏に疲れが出てきたのか、ファウルトラブルに苦しみリードを許すが、後半に#11大崎を投入し、3Pで一時点差を詰めた。しかし、市柏がリバウンドを取れず東海の速攻が増え、点差がなかなか縮まらないまま東海が勝利を収めた。</p>					
D1	千経大附	76	24 1Q 23	74	市立柏	74	24 1Q 23	74	市立柏
			10 2Q 12				10 2Q 12		
			24 3Q 14				24 3Q 14		
			18 4Q 25				18 4Q 25		
			OT				OT		
<p>両チームオールコートマンツーマンでスタート。市立柏#4ヌンイラを軸に、経済はアウトサイド中心に、一進一退の攻防で、市立柏#4ヌンイラが、1Q終盤3つ目のファールで後退し、苦しくなる。23 - 24経済リードで開始した2Q、両チーム果敢に攻め込むが得点につながらず、残り3分市立柏がタイムアウト。#4ヌンイラが入り流れをつかみかけるが、経済も反撃し、35 - 34市立柏リードで前半終了。3Q、市立柏がゾーンを仕掛けるが、機能せず流れはつかめず、中盤でマンツーマンに変えるが、経済#12真芽の3Pで勢いがつき、49 - 58経済リードで終了。4Q、経済が勢いを保ち、点差を開くが、残り5分市立柏タイムアウト後、#4ヌンイラのバスケットカウントから一気にリズムをつかみ、残り35秒、#7大和田のドライブで同点に追い付く。しかし残り0.5秒経済#5小林のバスケットカウントで74 - 76、千葉経済が劇的な勝利を収めた。</p>				<p>両チームオールコートマンツーマンでスタート。市立柏#4ヌンイラを軸に、経済はアウトサイド中心に、一進一退の攻防で、市立柏#4ヌンイラが、1Q終盤3つ目のファールで後退し、苦しくなる。23 - 24経済リードで開始した2Q、両チーム果敢に攻め込むが得点につながらず、残り3分市立柏がタイムアウト。#4ヌンイラが入り流れをつかみかけるが、経済も反撃し、35 - 34市立柏リードで前半終了。3Q、市立柏がゾーンを仕掛けるが、機能せず流れはつかめず、中盤でマンツーマンに変えるが、経済#12真芽の3Pで勢いがつき、49 - 58経済リードで終了。4Q、経済が勢いを保ち、点差を開くが、残り5分市立柏タイムアウト後、#4ヌンイラのバスケットカウントから一気にリズムをつかみ、残り35秒、#7大和田のドライブで同点に追い付く。しかし残り0.5秒経済#5小林のバスケットカウントで74 - 76、千葉経済が劇的な勝利を収めた。</p>					
D2	東海大浦安	73	12 1Q 10	62	市立柏	62	12 1Q 10	62	市立柏
			18 2Q 18				18 2Q 18		
			21 3Q 7				21 3Q 7		
			22 4Q 27				22 4Q 27		
			OT				OT		
<p>前半日体は、センターのハイローでインサイドを攻めるがなかなかシュートが決まらない。それと同時に相手からファウルをもらってもフリースローが入らず得点が伸び悩む。対称的に市船は3Pが立て続けに入り、日体がタイムアウトをとっても#7小牧の3Pやミドルシュートなどで流れを変えさせない。日体は2 - 3ゾーンで市船の速い動きを封じにかかるが、市船の外からのシュートが良く決まり、結果的にゾーンが効かなかった。</p> <p>日体は#10王が一気に6得点決め、後半をスタートさせた。市船の合わせをカットし流れを掴んだと思われたが、市船#4西鶴のカットやシュートで流れを戻した。そのまま#7小牧の3Pなどが決まり、80 - 89で市船が勝利した。</p>				<p>両チームハーフマンツーマンでスタート。第1Pは両チームともスクリーンプレイやドリブルプレーで積極的にシュートを狙うが、シュートがなかなか決まらず、東海が12 - 10とリードし第1Pを終えた。</p> <p>第2P・第3Pと出だしは市柏が流れを掴むが続き、東海の合わせやステップインにより流れを持って行かれ第4Pを迎えることになった。</p> <p>第4Pで市柏に疲れが出てきたのか、ファウルトラブルに苦しみリードを許すが、後半に#11大崎を投入し、3Pで一時点差を詰めた。しかし、市柏がリバウンドを取れず東海の速攻が増え、点差がなかなか縮まらないまま東海が勝利を収めた。</p>					

	Team A	女子3位決定戦					Team B	
	幕張総合	58	8	1Q	21	74	市立船橋	
			13	2Q	23			
			9	3Q	17			
			28	4Q	13			
				OT				
C3	<p>第1Q、両チーム、マンツーマンでスタート。どちらも速い展開で攻めるが、市船#6堀田のスチールや好アシストにより、市船が流れを掴む。幕総も動きの速いオフェンスで攻めるが、それ以上に市船のディフェンスが上回り、8-21と市船リードで終了。第2Q、残り7分のところで市船がゾーンを仕掛け、ルーズボールやリバウンドなどで点を重ねていく。幕総も果敢に攻めるが、得点につながらない。市船#8江連の3Pにより差は縮まらず21-44で終了。第3Q、両チームの好ディフェンスにより、前半に比べスコアとなった。市船は#4岩佐の3Pやジャンプシュートなどで差を広げていき、30-61で第3Q終了。第4Q、幕張総合は#7金のドライブや好アシストで流れを掴もうとする。市船は次々とメンバーを替え、よりディフェンスでプレッシャーをかけていく。速攻などで幕張総合は得点を重ねるが、やはり追いつくことができず58-74で市船の勝利で終わった。</p>							
	Team A	女子7位決定戦					Team B	
	市立柏	98	23	1Q	16	70	我孫子	
			27	2Q	16			
			19	3Q	13			
			29	4Q	25			
				OT				
D3	<p>両チームともオールコートマンツーマンでスタート。第1Q前半、我孫子#9宇田川が市柏#4ヌンイラにインサイドで奮闘するも、後半得点が伸び悩む。市柏は確実に得点を重ね、16-23市柏リード。第2Q出だしから市柏はオールコートゾーンプレスでプレッシャーをかけ、勢いがつく。ベンチメンバーをすべて出す余裕もみせる。対して我孫子は市柏の激しいディフェンスに手こずり得点が止まる。32-50で第3Qスタート。市柏のディフェンスに慣れてきた我孫子は少しずつ点差を縮めていくが、市柏も内外バランスよく攻め差を引き離そうとする。45-69で第3Q終了。第4Q、我孫子が#12齋藤、#13百崎の得点で勢いに始めるが市柏#4ヌンイラ、#7大和田を中心に確実に得点する。我孫子が最後まで健闘するも市柏の高さを抑えることができず70-98で市柏が7位と決めた。</p>							
	Team A	男子3位決定戦					Team B	
	柏日体	85	23	1Q	12	73	拓大紅陵	
			14	2Q	16			
			24	3Q	21			
			24	4Q	24			
				OT				
C4	<p>第1Q、柏日体は#10王の高さを活かした攻撃や#5山崎の3P、パスカットなどで得点を重ね流れを掴む。しかし紅陵の#5渡邊や#9小林の3Pが決まり一進一退の攻防が続くが28対37で前半を終了。後半は、紅陵がシュートを決めても、柏日体が入れ返す展開で、前半の点差がなかなか縮まらない。柏日体#10王のバスケットカウントもあり、なかなか紅陵の流れに持つことができなかった。83対73で柏日体が勝利し、3位で関東大会の出場を決めた</p>							
	Team A	男子7位決定戦					Team B	
	市立柏	94	26	1Q	25	83	県立八千代	
			25	2Q	13			
			25	3Q	24			
			18	4Q	21			
				OT				
D4	<p>両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。第1Q市立柏はファールトラブル。しかし八千代のフリースローが決まらず苦しむ。第2Q八千代#4安田の素早いドライブで流れを作り出すもシュートが決まらず。八千代がタイムアウトを取り、両チームともゾーンディフェンスに変わった。八千代がタイムアウト明け先制点を取るが、市立柏にゾーンディフェンスを崩され、次々と得点を許し、リードを広げられた。51対38の13点差、市立柏リードで前半終了。第3Q、出だしは市立柏がリードするも、中盤から八千代が流れを掴む。第4Q残り3分で八千代がタイムアウトを取り、両チームともゾーンになった。タイムアウトによって流れを切られた市立柏は八千代に得点を許すが、第2Qの点差が響き、市立柏が94対83で勝利した。</p>							